



三河造園社屋

豊橋市西新町30番地

構造／木造2階建て
 延床面積／299.73㎡
 竣工／2025年5月
 木材使用量／81㎡
 樹種／スギ、ヒノキ、ナラ、ベイスギ、
 ベイマツ
 施主／三河造園株式会社
 設計／伊藤啓輔建築設計事務所
 施工／尾崎建築
 受賞歴／ウッドデザイン賞2025

光のリングを冠する木造社屋

国道1号線沿いに建つ造園会社の社屋。国道から県道が分岐する大きな交差点にあり、路面電車の停留所もある。敷地の北側の一部には電力会社による使用権が設定されており、国道1号線から離して建物を配置する必要があった。そのため、に空く建物北側のスペースを庭とし、南側にも庭を計画した。1階は南北2つの庭に対する面を全開口とすることで、緑越しに視線が抜け、建物中央の階段が象徴的に見えるようにした。2階はオープンな執務空間。階段上部に越屋根状のハイサイドライトを巡らせた光のリングを作り、暗くなりがちな1階中央部にまで自然光を届けている。



写真：萩原ヤスオ